

中学校 東京都 武蔵野市	農山村 長野県 大町市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	4泊5日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、奉仕、職業観（農）、交流

1. 学校名：武蔵野市立第五中学校（住宅地区・共学・全校生徒数 241 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：武蔵野市セカンドスクール

4. 学年・人数・期日・宿泊先

- (1) 学年・人数：第1学年・78名（全員参加型）
- (2) 期日：平成28年9月23日（金）～9月27日（火）4泊5日
- (3) 宿泊先：ホテル1泊、農家民宿（ホームステイ・分泊）3泊

5. ねらい

- (1) 自然に親しみ、ふれ合うことで自然を大切にする心を育てる。
- (2) 長期宿泊体験を通じて、自主的な規律の意識を高め、互いに助け合う認め合う人間関係を築く。
- (3) 自然体験、農業体験を通じて、自然、勤労などの大切さを学ぶ。
- (4) 大町の街づくりに関する問題解決学習を行い、市民性を育む。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
6時		起床	起床	起床	起床
7時	学校集合・発【行】	朝食	朝食・移動	朝食	朝食
8時		退館式【行】	JR白馬駅・徒歩	民宿発・水田着	農村ふれあい体験 (民宿ごと)【総】 ・農作業体験 ・姫川源流散策 ・わら細工・小物細工
9時	移動(バス)	白馬ジャンプ場の見学【総】	八方池の登山 【行・総】	農村ふれあい体験 (民宿ごと)【総】 ・農作業体験 ・郷土料理体験等	
10時		開村式【行】			
11時	大町市大町公園着 動物園の見学【行】	民宿オリエンテーション【行】 観光保全活動の説明 昼食	八方池着 昼食	昼食	閉村式・農家とのお別れ会【行】
12時	昼食				
13時	道の駅の見学【総】	姫川源流・親海湿原での環境保全活動【総】	下山	稲刈り体験(手刈り及びバインダー、コンバイン利用)【総】 残置物処理・片付け【行】	バス出発・昼食
14時	大町市街探検とプレゼンテーション交流【総】	残置物処理・片付け【行】	温泉入浴体験【行】		移動(バス)
15時	・大町市立仁科台中 学校1年生との交流 ・両校のポスターセッ ション	各民宿着	各民宿着	民宿での夕食準備	
16時		入浴・夕食準備	夕食準備	パーティー【行】	学校着・解散式【行】
17時					
18時	ホテル着	夕食	夕食	民宿の方との交流 (テーマ:長野五輪) 【総】	
19時	入館式【行】	自由時間	民宿の方との交流 (テーマ:食育)【総】	入浴	
20時	夕食 入浴				
21時	班長会議・室長会議、 日記・健康カード記入	班会議 日記・健康カード記入	班会議 日記・健康カード記入	班会議 日記・健康カード記入	
22時 ～	就寝:民宿 (長野県大町市)	就寝:民宿 (長野県大町市)	就寝:民宿 (長野県大町市)	就寝:民宿 (長野県大町市)	

※教育課程の位置付け:【行】の表示＝学校行事、【総】の表示＝総合的な学習の時間

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：八方池登山、 姫川源流の散策
- (2) 奉仕：親海湿原の環境保全活動
- (3) 職業観：稲刈り体験、民宿ごとの農作業等の体験
- (4) 交流：大町市立仁科台中学校 1 年生（大町市街探検とプレゼンテーション交流）
民宿（テーマ別学習等）



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援	生活指導員の情報提供(市教育委員会の登録者)、看護師の派遣		武蔵野市教育委員会 JA大北
	農村ふれあい体験等の指導者の手配		
経費的支援	往復交通費・宿泊代・現地の活動費用(但し、食事代は除く)		武蔵野市教育委員会
	現地講師の謝礼		
	生活指導員の謝礼・宿泊代等、看護師に係る経費		
情報面の支援	生活指導員の情報提供(市教育委員会の登録者)		武蔵野市教育委員会
	予算手続きに関する情報提供		
	大町市に関する地域資源や受入体制等に関する情報提供		
	宿泊学習の計画策定に必要な情報提供		
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 J A 大北
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案	
		食事・宿泊・体験・現地移動等の手配(ホテル、農家民宿、指導者等)	
		交流先である市内中学校や農家民宿等との事前調整	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		現地での緊急連絡体制と災害時対策の手配(現地の関係団体)	
	活動中	アレルギー等を抱える各生徒の配慮の手配(農家民宿等への連絡等)	
		引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		各活動場所の移動・案内	
		アレルギー等を抱える各生徒の配慮(農家民宿等)	
		現地での緊急連絡体制の設置	
		現地での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)	
活動後	事後学習への人材派遣		
	農山漁村体験の成果品等の送付		

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 受入先の担当者が本校のねらいを踏まえたプログラムをいっしょに検討し、具体化してくれた。
(大町市立仁科台中学校・民宿の方との交流、ポスターセッション、環境保全活動、残置物処理等)
- ・ 大町市立仁科台中学校・農家民宿等に対して本校のねらいを事前に共有してもらえた。
- ・ 学校と各農家民宿は特に配慮が必要な生徒のためにきめ細かな連携を図ることができた。

【農山漁村体験の受入先】

J A 大北 総務本部 観光課 (長野県大町市)

住 所 長野県大町市大町字光明寺 3091 番地 1

T E L 0 2 6 1 - 2 2 - 1 8 4 0

U R L <http://www.ja-daihoku.iijan.or.jp/life/travel>

中学校 東京都 武蔵野市	農山村 新潟県 阿賀町	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観(農・林)、文化芸術、交流

1. 学校名：聖徳学園中学校（住宅地区・共学・全校生徒数 240 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：第1学年スプリングキャンプ

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第1学年・67名（全員参加型）

(2) 期日：平成29年5月7日（日）～5月10日（水）3泊4日

(3) 宿泊先：旅館（分泊）2泊、農家民泊（ホームステイ・分泊）1泊

5. ねらい

(1) 真の国際人になるために、日本の伝統的な生活について理解する。特に田植え体験より、裸足での田んぼの感触をつかみ、日常食べている米の作り方を知り、日本の文化の大切さを学ぶ。

(2) 農家における民泊体験を通じて、心の触れ合いの大切さを学ぶ。

特に農家の方々と一緒になって体験し、対話をすることで、「出会いの大切さ」に気付かせる。

(3) 机上の教育では出来ない、五感を使いながらの勉強を行う。特に様々な体験を共に経験することで、教師・生徒間の交流を深め、より良い人間関係を育てる。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床・部屋清掃	起床・部屋清掃	起床・部屋清掃・朝食
7時	学校集合・発	朝食	朝食	各旅館発・閉校式
8時		各旅館発 対面式(各受入農家の対面)	準備	移動(バス)
9時	移動(バス)	移動 各農家民泊着	各農家民泊発	
10時			田植え体験 (コシヒカリ・手植え)	JA丸山低温倉庫 せんべい王国工場見学
11時	昼食(越後川口SA)	農村交流体験 (各受入農家や集落の方々との交流を通じた農業・生活の体験)		昼食
12時	移動(バス)		昼食 移動(体験学習の班別)	
13時		昼食(随時・各受入農家)		
14時	奥阿賀地区着 開校式		体験学習 ①ろくろ(陶芸) ②Tamagoの灯り作り ③アケビのつる細工 ④ミニ草履作り ⑤森林間伐体験	移動(バス)
15時	自然環境学習 麒麟山トレッキング(インストラクター付き学習活動)	作業終了		
16時				
17時	SL見学	各農家民泊着	阿賀町の各旅館着	学校着・解散
18時	阿賀町の各旅館着	夕食	夕食	
19時	夕食 クラスレク	農家民泊の家族と団らん	お菓子サミット	
20時	入浴 室長会議	入浴	入浴 室長会議	
21時				
22時	就寝:旅館(分宿) (新潟県阿賀町)	就寝:農家民泊 (新潟県阿賀町)	就寝:旅館(分宿) (新潟県阿賀町)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：自然環境学習・麒麟山トレッキング
- (2) 職業観：農村交流体験、田植え体験、森林間伐体験、JA丸山低温倉庫等の見学
- (3) 文化芸術：ろくろ（陶芸）、Tamagoの灯り作り、アケビのつる細工、ミニ草履作り
- (4) 交流：農村交流体験の指導者、各農家民泊の家族



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		阿賀町での体験指導者・指導補助員の派遣	【農山漁村体験の受入先】 一般社団法人阿賀町観光協会
情報面の支援		阿賀町での体験指導者・指導補助員に関する情報提供	
		阿賀町の農家民泊先、受入体制等に関する情報提供	
		しおりの作成に必要な情報の提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		学校のねらいや予算額に応じた活動内容の提案・調整	
		宿泊学習の計画策定等の協力	
		教員による下見と事前学習の協力 (事前学習：インターネットの中継による意見交換)	
		阿賀町での食事・宿泊・体験・指導者・移動手段等の手配	
		阿賀町での体験プログラムと荒天時の代替プログラムの手配	
		阿賀町での緊急連絡体制・災害対策の手配	
		発達障がい等を抱える各生徒の配慮の手配	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導の協力	
発達障がい等を抱える各生徒の配慮			
	阿賀町での緊急連絡体制の設置		
活動後	阿賀町での諸費用の一括精算（精算手続きの簡素化）		

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・長期で安定的な関係が構築されており、受入先と本校の相互の信頼関係の中でプログラムが実施されており、本校の要望にも積極的に対応してもらえた。
- ・全生徒が田植えを経験して秋に収穫をするという稲作のプロセスの学習を行えた。
- ・事前学習での現地中継、阿賀町物産展、お米の贈呈式など、継続的な学びの機会を得られた。
- ・現地での生徒によるiPadを使用した報告会、事前学習の現地からの中継、保護者への田植え実習の生中継等、ICTの活用のための環境整備をしてもらえた。
- ・コーディネーターが民泊先の家庭状況を完全に把握しており、安心して生徒を預けることができた。

【農山漁村体験の受入先の紹介】

一般社団法人 阿賀町観光協会（新潟県阿賀町）

住 所 新潟県東蒲原郡阿賀町津川 3501 番地 1 狐の嫁入り屋敷内

TEL 0254-92-0220 URL <https://www.aga-info.jp/>

中学校 東京都 世田谷区	農山村 山形県 酒田市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観（農）、文化芸術、交流

1. 学校名：田園調布学園中等部（住宅地区・女子校・中等部生徒数 636 名）

2. 宿泊体験の位置付け：宿泊行事

3. 活動名：体験学習 山形県酒田ファームステイ

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第2学年・215名（全員参加型）

(2) 期日：平成30年8月24日（金）～8月27日（月）3泊4日

(3) 宿泊先：民家（ホームステイ・分泊）3泊

5. ねらい

(1) 農村生活体験を通して生きる知恵を学ぼう

(2) 酒田の人々と交流し、自然や農村文化への理解・関心を深めよう

(3) 自然と共に生きることの素晴らしさを知り、酒田での出会いと体験を大切にしよう

【学年目標】酒田の自然を満喫し、家族や地域の方々と交流し、酒田の魅力を感じよう。

一人ひとりが自覚を持って、礼儀正しく行動しよう。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床 朝食	起床 朝食	起床 朝食
7時		午前 農作業体験	各受入家庭での体験	各受入家庭の民家発
8時	東京駅集合・発	・指導：受入家庭、現地講師 (例)	内容：各受入家庭と一緒に 過ごす活動(受入家庭ごと による企画・実施)	酒田市平田地区発 移動(バス)
9時	移動(鉄道)	・農作業を行っている民家 :受入家庭での野菜の苗植え	(例)	手向(五重塔～羽黒神社) の見学
10時		・収穫、畜産の作業等	・酒田市内の周遊	
11時	仙台駅着 移動(バス)	・農作業を行っていない民家 :トマト農家での収穫、袋詰め 選果場の見学等	・酒田市の文化体験 ・家業の手伝い等	
12時	天童タワー将棋村 昼食	昼食	昼食(随時)	移動・昼食(バス)
13時		午後 ふるさと体験		
14時	移動(バス)	・指導：受入家庭、現地講師 (例)	午前の続き	仙台駅着・発 移動(鉄道)
15時	最上川芭蕉ラインの川下り (俳句を詠む)	・川遊び、カヌー・ボート ・酒田市の文化体験(庄内さ しこ作り、そば打ち、しそ巻 作り等)		
16時	移動(バス)			東京駅着・解散
17時	酒田市平田地区着 移動(バス)			
18時	各受入家庭の民家着	受入家庭の手伝い	受入家庭の手伝い	
19時	受入家庭の手伝い 夕食	夕食	夕食	
20時	受入家庭との団らん 入浴	受入家庭との団らん	受入家庭との団らん	
21時 ～	就寝：受入家庭の民家 (山形県酒田市)	就寝：受入家庭の民家 (山形県酒田市)	就寝：受入家庭の民家 (山形県酒田市)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：最上川芭蕉ラインの川下り、川遊び、カヌー、ボート、五重塔・羽黒山神社等の見学
- (2) 職業観：農作業体験（野菜の苗植え・収穫、畜産の作業、トマト農家での収穫・袋詰め等）
- (3) 文化芸術：ふるさと体験（庄内さしこ作り、そば打ち、しそ巻作り等）
- (4) 交流：酒田市の受入家庭との交流



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援策の名称
人的支援		酒田市の体験指導者・指導補助員の派遣	酒田市役所農林水産部農政課
経済的支援		受入家庭による市内施設周遊の際の見学料等の減免 (資料館、水族館、天体観測館、美術館等の市内14施設)	
情報面の支援		受入家庭に関する情報提供(プロフィールシートの提供)	
		地域資源・体験メニュー・受入体制等に関する情報提供	酒田市食生活改善推進協議会(平田支部)
		酒田市の食体験等の指導者に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 酒田ファームステイ実行委員会 (酒田市役所農林水産部農政課)
		教員による下見の協力	
		宿泊学習の計画策定等の協力	
		事前学習への人材派遣	
		酒田市の受入家庭・指導者・移動手段等の手配	
		屋外での体験プログラム・荒天時の代替プログラムの用意	
		酒田市での緊急連絡体制・災害対策の用意	
	活動中	発達障がい等の困難を抱える各生徒の配慮の手配	
		引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導の協力	
		発達障がい等の困難を抱える各生徒の配慮	
	活動後	酒田市での緊急連絡体制の設置	
		酒田市での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)	
		学園祭企画への参加・交流	
		体験の成果品等の送付がく	
		保護者対象の料理講習への講師派遣	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 2003年度より継続している行事で、受入先とは互いの意図が通じやすい関係になっている。
- ・ 酒田市役所が受入家庭を確保してくれるので安心して預けられた。

【農山漁村体験の受入先】

酒田ファームステイ実行委員会（山形県酒田市）連絡窓口：酒田市役所農林水産部農政課

住 所 山形県酒田市本町2-2-45

TEL 0234-26-5792

中学校 東京都 町田市	農山漁村 秋田県 仙北市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	5泊6日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	職業観（農）、文化芸術、交流

1. 学校名：和光中学校（住宅地区・共学・全校生徒数 431 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：秋田学習旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第2学年・137名（全員参加型）

（2）期日：平成30年9月26日（水）～10月1日（月）5泊6日

（3）宿泊先：ホテル（あきた芸術村温泉ゆぽぽ）5泊

5. ねらい

民族芸能に取り組むわらび座・稲作を中心とした農家に飛び込み『未知の地域』『未知の人たち』『未知の農業体験』との出会いを通して学校生活では体験できない学びと出会いを経験する。

そして、自分たちとは異質な集団(わらび座・農家)の出会いから『自らの生活を問う・考え直す』きっかけにする。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目		
6時		起床・掃除	起床・掃除	起床・掃除	起床・掃除	起床・掃除		
7時		朝食	朝食	朝食	朝食	朝食		
8時		祭りづくり準備	移動(バス・徒歩)	移動(バス・徒歩)	移動(バス・徒歩)	荷物整理		
9時	東京駅集合・発	祭りづくり① 太鼓・ソーラン節披露 指導者による稽古	各受入農家での 農作業①	各受入農家での 農作業③	各受入農家での 農作業⑤	わらび座発		
10時	移動・昼食(鉄道)					移動(バス)		
11時	角館駅着・発					角館駅発		
12時	移動(バス)	昼食	昼食	昼食	昼食	移動(鉄道)		
13時	わらび座着	祭りづくり② 作戦タイム	各受入農家での 農作業②	各受入農家での 農作業④	各受入農家での 農作業⑥	東京駅着・解散		
14時	わらび座観劇	リハーサル					移動(バス・徒歩)	移動(バス・徒歩)
15時		発表会に向けた 最終打合せ					入浴	
16時								
17時	合唱練習①	祭り発表会 ・指導者との交流 ・学年合唱発表	入浴	交流会準備	荷物整理			
18時	夕食 連絡 入浴 ノート記入 実行委員会	夕食・連絡 入浴 ノート記入 実行委員会 合同班長会議	夕食・連絡	農家交流会 (各農家で開催)	夕食・連絡			
19時			班長会、クラス農 作業交流会	移動(バス・徒歩)	お別れ感謝の会 ・農家の方への 学年合唱発表			
20時			合唱練習②	入浴				
21時		実行委員会	ノート記入 実行委員会		総括文章書き			
22時 ～	就寝:ホテル (秋田県仙北市)	就寝:ホテル (秋田県仙北市)	就寝:ホテル (秋田県仙北市)	就寝:ホテル (秋田県仙北市)	就寝:ホテル (秋田県仙北市)			

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：各受入農家での農作業
- (2) 文化芸術：劇団わらび座観劇、祭りづくり、祭り発表会、学年合唱練習・発表
- (3) 交流：祭りづくりの指導者、農家交流会、お別れ感謝の会



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		指導者の手配(祭りづくり、農作業)	【農山漁村体験の受入先】 あきた芸術村(わらび座)
情報面の支援		体験プログラム・指導者・受入農家等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案・調整	
		宿泊学習の計画策定等の協力	
		事前学習への人材派遣	
	活動中	本宿泊学習での食事・宿泊・移動手段・設備等の手配	
		ソーラン節や太鼓を体験できる設備と指導者の手配	
		現地での緊急連絡体制・災害対策の手配	
		受入先による損害賠償責任保険の加入	
		アレルギーや発達障がい等を抱える各生徒の配慮の準備	
活動後	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置		
	アレルギーや発達障がい等を抱える各生徒の配慮		
	各活動場所の移動・案内		
		現地での緊急連絡体制の設置	
活動後		現地の諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 自然豊かな環境、農作業体験を数日間行える受入農家を確保してもらうことができた。
- ・ ソーラン節や太鼓を体験できる設備と指導者を確保してもらうことができた。

【農山漁村体験の受入先】

あきた芸術村(わらび座)

住 所 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430

TEL 0187-44-3939 (あきた芸術村予約センター)

URL <https://www.warabi.or.jp/>

中学校 神奈川県 相模原市	農山村 群馬県 みなかみ町	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観(農)、交流、文化芸術、その他

1. 学校名：相模女子大学中学部（住宅地区・女子校・全校生徒数 233 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：林間学校

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第2学年・80名（全員参加型）

(2) 期日：平成30年6月19日（火）～6月22日（金）3泊4日

(3) 宿泊先：ホテル2泊、農家民宿（ホームステイ・分泊）1泊

5. ねらい

(1) 豊かな自然の中での体験学習を通して、私たちの暮らしが自然の恵みによって支えられていることを学ぶ

(2) 農業や畜産などの体験学習を通して、「食」の大切さを学ぶ

(3) 集団生活の中で自己の役割を見つけ、互いに認め合うことを身につける

【農家体験の目的】

- ① 農作業を通して、食や命の尊さを学ぶ
- ② 農村の現状を知り、働くこと・手伝うことの大切さを学ぶ
- ③ 農業という職業に関心を持ち、日本の農業が抱える課題を考える

	1日目	2日目	3日目	4日目	
6時		起床	起床	起床	
7時		朝の集い、朝食	朝食、退館準備、部屋掃除	朝食	
8時	開講式・学校発	トレッキング準備	ホテル退館式、出発	各農家での家事・農業体験	
9時		ホテル出発	みなかみ町の郷土文化体験	農家の家族との団らん	
10時	移動(バス)	一ノ倉沢トレッキング			
11時		(昼食)	受入農家との対面式 ↓ 移動(班毎に泊まる農家宅) ↓ 各受入農家着	昼食	
12時	ホテル着・入館式・昼食	JR土合駅散策			移動(各受入農家発)
13時					集合・離村式、出発
14時	オリエンテーリング (チームビルディング)			移動(バス)	
15時		ホテル着	各農家での家事・農業体験	学校到着・閉校式	
16時	飯盒炊さん	入浴、休憩			
17時	↓ 夕食	夕食			
18時		キャンプファイヤー	農家の家族との団らん		
19時	入浴		夕食		
20時	しおりの記録、全体集会等	しおりの記録、全体集会等	入浴		
21時 ～	就寝:ホテル (群馬県みなかみ町)	就寝:ホテル (群馬県みなかみ町)	就寝:農家民宿 (群馬県みなかみ町)		

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：オリエンテーリング、一ノ倉沢トレッキング
- (2) 職業観・交流：受入農家での家事・農業体験・家族との交流
- (3) 文化芸術：みなかみ町の郷土文化体験
- (4) その他：チームビルディング



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		現地の指導員・指導補助員の紹介・手配・派遣	【農山漁村体験の受入先】 (一社)みなかみ町 体験旅行
情報面の支援		地域資源・ホームステイ先・指導者等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じたプログラムの提案	
		宿泊学習の計画策定の協力	
		受入農家・食事・体験・見学・指導者等の手配	
	荒天時の代替プログラムの用意・手配		
	現地での緊急連絡体制、災害発生時対策、移動手段の手配		
	アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮の手配		
	受入先による損害賠償責任保険の加入		
	活動中	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
引率教員による指導の協力			
アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮			
各活動場所の移動・案内			
活動後	現地での緊急連絡体制の設置		
	体験で作製した成果物の送付		

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・生徒に対してとても優しく接してくれる受入農家を紹介してもらうことができた。
- ・障がいのある生徒の対応に慣れている受入農家にお世話になることができた。
- ・教員が滞在する現地本部から車で移動できる距離にある受入農家を手配してもらえた

【農山漁村体験の受入先】

一般社団法人みなかみ体験旅行（群馬県みなかみ町）

住 所 群馬県利根郡みなかみ町月夜野 1744 番地 1

TEL 0278-62-3450 URL <http://www.m-tr.jp/>

中学校 北海道 札幌市	農山村 秋田県 大館市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	職業観（漁・他）、文化芸術

1. 学校名：札幌市立手稲中学校（住宅地区・共学・全校生徒数 700 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第3学年・218名（全員参加型）

（2）期日：平成28年6月9日（木）～6月12日（日）3泊4日

（3）宿泊先：ホテル3泊

5. ねらい

（1）委員会活動や係活動、学級での話し合いなどに積極的に参加し、1人ひとりの自主性・主体性を身につける【心・技】

（2）学年218人全員が安心・安全で楽しく4日間の旅行を過ごすために必要な集団生活のルールやマナーをしっかりと守る心を育てる。【心・技・体】

（3）事前、当日、事後の活動全てにおいて、218人みんなが責任感をもち、協力し合うことで、1人ひとりが達成感や満足感を味わい、学級や学年の絆をより深める。【心・技】

（4）確かな事前学習と当日の実体験を通して、東北地方の人や歴史や文化、また自然や風土に関する理解を深めるとともにものの見方や考え方の幅を広げる。【心・技】

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時	手稲駅集合	起床 朝食	起床 朝食	起床 朝食
7時	出発			
8時	札幌駅発	ホテル発	ホテル発	ホテル発
9時	移動(鉄道)	コース別研修(3コース) ①男鹿半島Aコース 五社堂、わら細工と方言講座、サザエ網外し体験等	移動	移動
10時			大館市着	青森県ねぶたの家・ワラッセの見学
11時	新函館北斗駅着	②男鹿半島Bコース 水産試験センター、水族館	きりたんぼ作り 昼食	新青森駅発・移動(鉄道)
12時	新函館北斗駅発		移動	
13時	移動・昼食(鉄道)	GAO、寒風山、八郎潟等	道の駅かづの・休憩	新函館北斗駅着
14時	新青森駅着	③能代市コース JAXA ロケット実験場、火力発電所、干拓博物館等	小坂康楽館芝居鑑賞	移動(鉄道)
15時	移動			
16時	大太鼓の見学	ホテル着	ホテル着	札幌駅着・解散
17時	学級写真撮影	なまはげ壁掛け製作体験		
18時	ホテル着・夕食	夕食	夕食	
19時	なまはげ館・伝承館等の見学	なまはげ太鼓ライブ鑑賞	学年レク	
20時	ホテル着	入浴	入浴	
21時 ～	就寝:ホテル (秋田県男鹿市)	就寝:ホテル (秋田県男鹿市)	就寝:ホテル (秋田県鹿角市)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：サザエ網外し体験、水産試験センター・JAXA ロケット実験場・火力発電所の見学等
 (2) 文化芸術：なまはげ館・伝承館等の見学、わら細工と方言講座、なまはげ壁掛け製作体験、きりたんぼ作り、青森県ねぶたの家・ワラッセの見学等



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援策の名称
人的支援		きりたんぼ作りに関する指導者・指導補助者の手配	【農山漁村体験の受入先】 〈きりたんぼ作り〉 大館市まるごと体験推進協議会
		大館市による移動用公用車の手配	
情報面の支援		きりたんぼ作りに関する受入体制等に関する情報提供	
		きりたんぼ作りに関する資料の提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案	
		きりたんぼ作り・昼食の場所・指導者・用具等の手配	
		大館市での緊急連絡体制・災害対策の用意	
		受入先による損害賠償責任保険の加入	
	活動中	アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮の用意	
		引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導への協力	
		活動場所の案内(移動用公用車の手配)	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮	
	活動後	大館市での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)	
		記録写真等の送付	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 訪問地域の食文化に触れることができ、学校のねらいに合致した活動を行えた。
- ・ 指導者数が多く、各生徒に適切な対応をしてもらえた。
- ・ 安全対策・緊急時の対応・移動等の配慮がされていたので、安心して活動を行えた。

【農山漁村体験の主な受入先】

大館市まるごと体験推進協議会（秋田県大館市）連絡窓口：大館市産業部移住交流課
 住 所 秋田県大館市上代野稻荷台 1-1 ニプロハチ公ドームパークセンター内
 TEL 0186-43-7149
 URL <http://www.city.odate.akita.jp/dcity/kouryu/63-7397.html>

中学校 東京都 港区	農山漁村 沖縄県 竹富町	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	5泊6日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	自然、交流

1. 学校名：山脇学園中学校（商業地区・女子校・全校生徒数 878 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：科学研究チャレンジプログラム 西表野生生物調査隊

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第3学年・40名（募集参加型）

(2) 期日：平成30年5月6日（日）～5月11日（金）5泊6日

(3) 宿泊先（※1～3日目：各班の宿泊先は別）

①白浜班（白浜公民館海人の家4泊、ホテル1泊）

②船浦班（琉球大学亜熱帯生物圏研究センター西表施設3泊、白浜公民館海人の家1泊、ホテル1泊）

5. ねらい

(1) 自然科学における「観察」の重要性の再認識

(2) 計画性の育成

(3) 協働力の向上

(4) フィールドという非日常空間における活動力の養成

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目		
7時		起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床		
8時		①白浜班 ・カヌーでの仲良川 河口域マングロー ブ林生物調査 【生物】 ・昼食 ・干潟調査【生物】 ・調査内容の整理 ・夕食 ・夜間調査(ホテル・ コウモリ等)【生物】	①白浜班 ・移動(バス) ・ホシズナ海岸生物 調査【生物】 ・昼食 ・浦内川ジャングル 調査【生物】 ・移動(バス) ・東海大学河野先生 の講義【生物】 ・河野先生を囲んで 夕食会	①白浜班 ・釣り ・報告会準備 ②船浦班 ・清掃 ・渡辺先生のセミ ナー研究とは ・移動(白浜へ)	掃除美化点検	朝食		
9時	羽田空港集合・発 移動(飛行機) 石垣空港着				②船浦班 ・カヤックでの船浦 湾マングローブ林 ・西田川での実習 とジャングルトレッ キング【生物】 ・昼食 ・調査内容の整理 ・夕食 ・先輩作成のロボッ トで調査 ・夜間調査(ホテル・ 星空観察等) 【生物・地学】	2班合同報告会 (調査した生物に ついての発表) 交流会準備 地元青年会との 交流会 ・バーベキュー ・歌や郷土芸能に よる交歓会	白浜発 移動(フェリー) 船浮集落での生 物調査【生物】	移動(バス) 西表島大原港発 移動(フェリー) 石垣港着 移動(バス)
10時							シュノーケリング 講習	昼食
11時		移動(飛行機)	シュノーケリング サンゴ礁観察 【生物】	移動(フェリー) 白浜着 移動(バス)			石垣空港発 移動(飛行機)	
12時	移動(飛行機)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
13時	移動(飛行機)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
14時	石垣空港着	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
15時	石垣港発 移動(フェリー) 西表島上原港着	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
16時	西表島上原港着	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
17時	2班別で宿舍移動	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
18時	①白浜班 ・夕食 ・一日のまとめ ・随時星空観測	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
19時	②船浦班 ・夕食 ・夜間調査ホシズナ 海岸【生物・地学】 ・一日まとめ	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
20時	②船浦班 ・夕食 ・夜間調査ホシズナ 海岸【生物・地学】 ・一日まとめ	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
21時	②船浦班 ・夕食 ・夜間調査ホシズナ 海岸【生物・地学】 ・一日まとめ	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)		
22時	就寝：竹富町2か所 ①白浜公民館 ②琉球大研究センター	就寝：竹富町2か所 ①白浜公民館 ②琉球大研究センター	就寝：竹富町2か所 ①白浜公民館 ②琉球大研究センター	就寝：白浜公民館 (沖縄県竹富町)	就寝：ホテル (沖縄県竹富町)	就寝：ホテル (沖縄県竹富町)		

※【 】内は当該活動を授業として位置付けた教科等を明記しています。

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：マングローブ林・ジャングル(カヌー・カヤック・トレッキングによる調査)
 ホシズナ海岸生物調査、夜間調査（ホタル・星空観察等）、サンゴ礁観察等
- (2) 交流：地元青年会との交流会（食事作り(バーベキュー)、歌や郷土芸能による交歓会)



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		指導者・指導補助員の手配・派遣	【農山漁村体験の受入先】 ウィルダネス・アドベンチャー ・サプライ
		看護師の手配・派遣	
情報面の支援		体験プログラム等の資料・教材の提供	
		地域資源・体験プログラム・受入体制等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案・調整	
		本宿泊学習の計画策定等の協力	
		地域内での食事・宿泊・体験プログラム・指導者等の手配	
		荒天時の代替プログラムの用意	
	活動中	現地での緊急連絡体制・防災対策の手配	
		受入先による損害賠償責任保険の加入	
		保護者説明会への人材派遣	
		アレルギー・障がい等を持つ各生徒の配慮の用意	
		引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		カヌー・シュノーケル等の指導	
活動後	引率教員による指導の協力		
	各活動場所への移動・案内		
	現地での緊急連絡体制の設置		
		現地での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)	
		次年度の工程作成の協力	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 事前調整によって、探究活動を担当する教員と受入先の指導者との協力体制が築くことができた。
- ・ 現地の方達との交流をスムーズに持つことができた。
- ・ 現地の様子を良くわかっているガイドが安全に配慮して天候等に応じた行程変更を適宜行えた。
- ・ 生徒の生活全般に関わっていただけだったので、個々の生徒の体調等に配慮してもらえた。
- ・ 西表島にある琉球大学の研究施設との連携もスムーズに行うことができた。

【農山漁村体験の受入先】

ウィルダネス・アドベンチャー・サプライ

住 所 鹿児島県大島郡瀬戸内町嘉鉄472-1

TEL 0997-76-3431

中学校 東京都 北区	農山村 新潟県 糸魚川市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観（農・林）、交流

1. 学校名：聖学院中学校（住宅地区・男子校・全校生徒数 464 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中で集団宿泊活動

3. 活動名：糸魚川農村体験学習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第3学年・165名（全員参加型）

（2）期日：平成30年5月18日（金）～5月21日（月）3泊4日

（3）宿泊先：農家（ホームステイ・分泊）3泊

5. ねらい

日本人の主食である米作りの実際と、その農業について学び、現在直面している問題などを受け入れ家庭の方々との交流を通して知る。その体験から各々が自らできることを考えていく。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床	起床	起床
7時		朝食	朝食	朝食
8時		各受入家庭（農家）発		各受入家庭（農家）発
9時	東京駅集合	移動（バス）	各受入家庭（農家）での手伝い	送別会の開催
10時	東京駅発	“西海・御前山聖学院の森”での植林作業		お土産購入
11時	移動・昼食（鉄道）		昼食	糸魚川駅発
12時	糸魚川駅着	昼食	各受入家庭（農家）発	移動・昼食（鉄道）
13時	歓迎式の開催	移動（バス） 各受入家庭（農家）着	移動（バス）	
14時	移動（バス）		田植え実習	東京駅着・解散
15時	フォッサマグナミュージアムの見学			
16時	移動（バス）	各受入家庭（農家）での手伝い	実習終了・移動（バス） 各受入家庭（農家）着	
17時	各受入家庭（農家）着		各受入家庭（農家）での手伝い	
18時	各受入家庭（農家）での手伝い			
19時	夕食 受入家庭との団らん	夕食 受入家庭との団らん	夕食 受入家庭との団らん	
20時	入浴	入浴	入浴	
21時	就寝：各受入家庭（農家） （新潟県糸魚川市）	就寝：各受入家庭（農家） （新潟県糸魚川市）	就寝：各受入家庭（農家） （新潟県糸魚川市）	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：フォッサマグナミュージアムの見学
- (2) 職業観：西海・御前山聖学院の森での植林作業、田植え実習
- (3) 交流：受入家庭との手伝い・団らん



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		現地指導者に関する手配・派遣	糸魚川市役所、糸魚川観光協会、JAひすい、ぬながわ森林組合
情報面の支援		現地指導者に関する情報提供	糸魚川市役所 糸魚川観光協会
		糸魚川市の地域資源・体験・受入体制等に関する情報	
		糸魚川市の資料・教材の提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	糸魚川市の受入家庭(農家)に関する情報提供	【農山漁村体験の受入先】 JAひすい 〈田植え実習の指導協力〉 (株)東山ファーム (株)小田島建設
		学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案・調整・手配	
		宿泊学習の計画策定等の協力	
		糸魚川市の受入家庭(農家)の手配(食事・宿泊・指導等)	
		糸魚川市内での体験・指導者・会場等の手配	
		糸魚川市での緊急連絡体制(病院を含む)・災害対策の手配	
	受入先による損害賠償責任保険の加入		
	アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮の手配		
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導の協力	
		糸魚川市内での各活動場所の移動・案内	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮	
	活動後	糸魚川市内での緊急連絡体制の設置	
糸魚川市での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化) 体験の成果品等の送付			

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・本校の行事としては必須である受入家庭を手配してもらうことができた。
- ・各植林体験や田植実習を指導できる人材を手配・派遣してもらうことができた。

【主な農山漁村体験の受入先】

JAひすい(新潟県糸魚川市)

住 所 新潟県糸魚川市大町1-3-4

TEL 025-552-0317 URL <http://www.ja-hisui.or.jp>

中学校 神奈川県 横浜市	農山漁村 長崎県 南島原市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	2泊3日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	職業観（農・漁）、交流

1. 学校名：横浜市立鶴見中学校（住宅・商業地区・共学・全校生徒数 514 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：平成 30 年度修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第 3 年生・171 名（全員参加型）

(2) 期日：平成 30 年 5 月 27 日（日）～ 5 月 30 日（水）3 泊 4 日

(3) 宿泊先：ホテル 1 泊、農林漁家民泊（ホームステイ・分泊）2 泊

5. ねらい

(1) 九州の豊かな自然や文化、人との出会いなど「ほんもの」に触れる貴重な体験を通して、情操面を高めるとともに新しい文化の創造に役立てる。

(2) 原爆資料館・平和公園地域の見学や被ばく体験者の講話を通して、「平和」「人間の生命や尊厳」等について深く学び、自分の生き方を考えるきっかけとする。

(3) 修学旅行に向けての「調査・体験・課題研究」を通して学習意欲を高め、主体的な学習の仕方を身に付け、学ぶことの楽しさや成就感を体感する。

(4) 集団生活の在り方や社会のマナーについて学ぶ。

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目
6 時		起床	起床	起床
7 時	羽田空港集合・発	朝食	朝食	朝食
8 時		ホテル発	各農林漁家民泊での家業	各民泊の家族との団らん
9 時	移動(飛行機)		体験(例:収穫体験:ジャガイモ、イチゴ、玉ネギ等、手入れ体験:トマト等)	各農林漁家民泊発
10 時	長崎空港着	長崎市内班別自主行動		移動(自家用車)
11 時	移動(バス)	昼食(各自)	昼食(各農林漁家民泊)	退村式
12 時	長崎原爆資料館(体験講話)			移動(バス)
13 時	昼食	移動(バス)	各農林漁家民泊での家業	長崎空港着
14 時	長崎平和公園(セレモニー)	牧島地区ペーロン体験	体験(例:収穫体験:ジャガイモ、イチゴ、玉ネギ等、手入れ体験:トマト等)	移動(飛行機)
15 時	長崎市内平和学習			
16 時	(さるくガイド同行)	移動(バス)	夕食の手伝い	羽田空港着
17 時	移動	南島原市着・入村式	夕食	移動(電車)
18 時	ホテル着	移動(各民泊の自家用車)	各民泊の家族との団らん	京急鶴見駅着・解散
19 時	夕食	各農林漁家民泊着	入浴	
20 時	入浴	夕食		
21 時		各民泊の家族との団らん		
～	就寝: ホテル(長崎県長崎市)	入浴	就寝: 農家民泊(長崎県南島原市)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：農林漁家民泊先での家業体験（農・漁業体験）
- (2) 交流：農林漁家民泊の家族



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		看護師の手配	【農山漁村体験の受入先】 一般社団法人 南島原ひまわり観光協会
情報面の支援		各農山漁家民泊に関する情報提供	
		南島原市の地域資源・受入体制等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		現地での緊急連絡体制・災害対策の手配	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮の手配 (各農林漁家民泊との配慮事項の確認)	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		南島原市内の移動・案内	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮	
		現地での緊急連絡体制の設置	
活動後		南島原市内の諸費用の一括精算 (支払手続きの簡素化)	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・家業体験に徹しており、民泊先家庭にて生徒への体験、生活全てを受け入れてもらうことができた。
- ・学校・旅行会社・観光協会との打合せと連携をスムーズに図ることができた。
(観光協会の受入体制がしっかり整っている。)

【農山漁村体験の受入先】

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会（長崎県南島原市）

住 所 長崎県南島原市南有馬町乙 1395 南島原市有馬キリシタン遺産記念館 2 階

TEL 0957-65-6333 URL <https://himawari-kankou.jp/>

中学校 京都府 京都市	農山漁村 鹿児島県 南さつま市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	2泊3日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、奉仕、職業観(農・漁)、文化芸術、交流

1. 学校名：洛南高等学校附属中学校（住宅地区・共学・全校生徒数 734 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：南九州研修旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第3学年・241名（全員参加型）

(2) 期日：平成30年5月22日（火）～5月25日（金）3泊4日

(3) 宿泊先：ホテル1泊、農家民泊（ホームステイ・分泊）2泊

5. ねらい

(1) 九州の自然・歴史的文化的遺産などを見聞し、広く豊かな心と教養を育てる。

(2) 平和学習を通して、未来を担う人としての健全性を養い、国際社会に貢献する主体性ある人を育てる。

(3) ホームステイと農業などの体験学習を通して、体を動かすことの大切さ、作業の貴さ、食物への感謝の心を培う。また、人々とのふれあいの中から、人としてのやさしさを身につける。

(4) 集団生活の規律ある行動を通して、協調性や社会性を身につける。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床	起床	起床
7時	京都駅発	朝食	朝食	朝食
8時				各家庭での家事・家業体験
9時	移動(新幹線)・昼食	ホテル発	各家庭での家事・家業体験	家族との団らん
10時		仙巖園の見学	(農業・漁業等の体験)	昼食
11時		喜入石油備蓄基地の見学		移動(各農家民泊発)
12時	鹿児島中央駅着		昼食	集合・離村式
13時	鹿児島港(フェリー)桜島港	知覧特攻平和会館		移動(バス)
14時	ジオアドベンチャー	・昼食	各家庭での家事・家業体験	鹿児島中央駅発
15時	(溶岩なぎさ公園)	・講和・見学	(農業・漁業等の体験)	
16時	桜島港(フェリー)鹿児島港	・灯籠磨き		移動(新幹線)
17時	ホテル着	ホームステイの入村式		
18時	夕食	移動(各農家民泊着)	夕食	京都駅着・解散
19時		各家庭での家事・家業体験	家族との団らん	
20時	入浴	家族との団らん	入浴	
21時	就寝:ホテル	夕食		
～	(鹿児島県鹿児島市)	入浴	就寝:農家民泊	
		就寝:農家民泊	(鹿児島県南さつま市)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：ホームステイ先での地域の自然に親しむ
- (2) 奉仕：特攻平和会館の灯籠磨き
- (3) 職業観：ホームステイ先での農・漁業体験
- (4) 文化芸術：ホームステイ先の地域での祭り（砂の祭典）への参加
- (5) 交流：ホームステイ先の家族（異地域、異文化、異年齢交流）



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 NPO 法人エコ・リンク ・アソシエーション
		各農家民泊や地域資源等に関する情報提供	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案	
		宿泊学習の計画策定の協力	
		農家民泊・会場・現地の指導者等の手配	
		荒天時の代替プログラムの手配	
		現地での緊急連絡体制、災害発生時対策、移動手段の手配	
		アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮の手配	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導の協力	
		アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮	
		農家民泊先の地区等への移動・案内	
		現地での緊急連絡体制の設置	
	活動後	南さつま市での諸費用の一括精算（精算手続きの簡略化）	
本校の文化祭への来訪（生徒との語らい、農産物の紹介等）			

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・生徒に寄り添って農作業等を指導してくれるホームステイ先を手配してくれた。
- ・ホームステイや自然の中での体験等を通じて、生徒の変化を感じられる活動を行うことができた。
 - ：都市圏に住む生徒の中から、自然の中で働く体験をしたことで視野が広がる生徒が出てきた。
 - ：生徒が自然の中での体験等を通して、子どもらしい表情になっていた。

【農山漁村体験の受入先】

NPO法人エコ・リンク・アソシエーション（鹿児島県南さつま市）

住 所 鹿児島県南さつま市加世田本町 53-6

TEL 0993-53-7270 URL <http://eco-link.jp/>

中学校 奈良県 奈良市	農山漁村 沖縄県 大宜味村	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間 1泊2日
			受入先の分類 受入地域協議会
			体験の分類 自然、奉仕、職業観(農)、文化芸術、交流

1. 学校名：奈良教育大学附属中学校（農山村地区・共学・全校生徒数 450 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：平成 30 年度第 3 学年修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

- (1) 学年・人数：第 3 学年・158 名（全員参加型）
- (2) 期日：平成 30 年 5 月 19 日（土）～5 月 21 日（火）3 泊 4 日
- (3) 宿泊先：ホテル 2 泊、民泊（ホームステイ・分泊）1 泊

5. ねらい

- (1) 持続可能なやんばるの暮らしや文化を「知る」・「体験する」・「考える」
 - ・やんばるの風土が育む暮らしや文化にとけ込もう！
 - ・やんばるに生きる知恵=ゆいってなんだろう？
 - ・山が海岸まで迫っている村で人々はどう生きてきたのだろうか？
 - ・地域に根を張って生きるとはどういうことなんだろう？
 - ・地域の魅力発信＝「あるもの」探しをどうデザインしているのだろうか？
- (2) 持続可能な自然を守る取り組みに学ぶ
 - ・やんばるの開発と保全の実際を学ぶ
 - ・持続可能なやんばるの農業に学ぶ
 - ・持続不可能な開発とは何かを考える
- (3) 遠くの親せきをつくろう
 - ・心身ともに脱力できる場所をもとう
 - ・自分を許し・ケアできる関係性の場をもとう
 - ・自分を見つめなおす 生きなおし、出会いなおしの機会をつくろう

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床・朝食 集合	起床 朝食	起床・朝食 集合
7時				
8時	近鉄奈良駅周辺発 移動(バス)	ホテル発	各民泊での生活体験	ホテル発、移動(バス)
9時	伊丹空港着・出発式	タクシープラン(班別行動)	民泊家庭との団らん	首里城公園・第 32 軍司令部 壕等の見学
10時		・ねらいに応じた見学・体験	昼食	移動
11時	移動・昼食(飛行機)	・昼食	移動(各民泊発)	国際通りでの班別行動
12時		・現地講師先の訪問	集合・退所式	昼食
13時	那覇空港着、移動(バス)	・大宜味村への移動	移動(バス)	那覇空港・集合・解散式
14時	平和学習			移動(飛行機)
15時	・平和学習ガイドによる案内	大宜味村着・入村式	マリンスポーツ体験	伊丹空港着
16時	・平和記念公園での学習 (沖縄戦学習、基地学習)			移動(バス)
17時		移動(各民泊先・分散)	ホテル着	近鉄奈良駅周辺着・解散
18時	ホテル着・夕食	各民泊での生活体験	入浴	
19時	平和講演	民泊家庭との団らん	夕食	
20時	学習まとめ・入浴	夕食・入浴	学年レク	
21時	部屋長会議		部屋長会議	
22時 ～	就寝:ホテル (沖縄県那覇市)	就寝:農家民泊 (沖縄県大宜味村)	就寝:ホテル (沖縄県恩納村)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：やんばる地域(国立公園)での生物多様性と環境保全の重要性の講習、マリンスポーツ
- (2) 奉仕：ビーチ・クリーニング活動
- (3) 職業観：民泊先での農業体験(各種・農作物・植付・収穫等)
- (4) 文化芸術：現地青年団によるエーサー演武体験、民泊先での物づくり体験等
- (5) 交流：高齢者(老人会)、民泊の家族(地元ライフ・スタイル、食・文化・歴史文学)



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		指導員の手配・派遣、補助指導員の情報提供	【農山漁村体験の受入先】 NPO 法人 おおぎみまるごと ツーリズム協会
情報面の支援		やんばる地域に関する地域資源や人材等に関する情報提供	
		宿泊学習で使用できる資料の提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による宿泊学習の計画策定、下見の協力	
		学校のねらいや予算額に応じた現地プログラムの提案・調整	
		ホームステイ先・会場・現地の指導者・看護師等の手配	
		学校のねらいに応じた現地プログラムの用意・手配	
	荒天時の代替プログラムの手配		
	現地での緊急連絡体制、災害発生時対策、移動手段の手配		
	保護者説明会への人材派遣		
	アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮の準備		
	損害賠償責任保険の加入		
活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置		
	引率教員による指導の協力、現地の移動・案内		
	アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮		
活動後	現地での緊急連絡体制の設置		
	現地の諸費用に係る精算の取りまとめ 事後発表会への来訪、成果物等の送付		

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 受入先の担当者が本校に訪れて本校のねらいにかなう宿泊学習を一緒に企画・実現してくれた。
- ・ 本校が大切にしている「ひとに出会う学び」を適える大宜味村の人材を手配してくれた。
(大宜味村の民泊の家族、各種体験の指導者等)
- ・ 沖縄県やんばる地域の自然や文化に根差した行事に参加できるように手配してくれた。

【農山漁村体験の受入先】

NPO法人おおぎみまるごとツーリズム協会 (沖縄県大宜味村)

住 所 沖縄県国頭郡大宜味村字田港 1357-18

TEL 0980-44-1960

URL <http://ogimi-tourism.com/>

中学校 和歌山県 和歌山市	農山村 山梨県 北杜市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	2泊3日
			受入先の分類	青少年教育施設
			体験の分類	自然、職業観（畜）

1. 学校名：和歌山県立向陽中学校（住宅地区・共学・全生徒数 240 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：平成 30 年度第 3 学年修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第 3 学年・80 名（全員参加型）

（2）期日：平成 30 年 5 月 29 日（火）～6 月 1 日（金）3 泊 4 日

（3）宿泊先：青少年教育施設（キープ自然学校）1 泊、ホテル 2 泊

5. ねらい

（1）酪農体験・洞窟探検などの体験的な活動を通して、普段では味わえない自然に親しむとともに「環境」について考える。

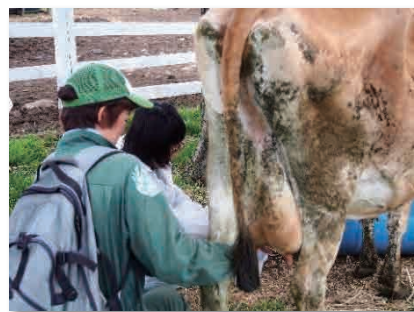
（2）様々な文化に触れ、見聞を広め、感性を高める。

（3）集団行動を通じて、お互いを思いやり、協力し、目的を達成する態度を育成する。

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目
5 時		起床		
6 時		循環型酪農体験 放牧 餌の準備 朝食 牛舎清掃 給餌準備 集牧 搾乳	起床 朝食 ホテル発	起床 朝食 荷物配送
7 時				
8 時	集合・出発式 和歌山駅発			移動(バス)
9 時	移動・昼食(鉄道)		東京都庁着	東京スカイツリーの見学
10 時				移動(鉄道)
11 時	名古屋駅着			東京駅着・発
12 時		昼食・閉校式	東京都内班別行動	
13 時		清里(山梨県北杜市)発	昼食・夕食:各班随時 (各班で計画した場所)	移動・昼食(鉄道)
14 時	移動(バス)	移動(バス)		新大阪駅着・発
15 時	国立天文台野辺山の見学 移動(バス)			移動(鉄道)
16 時	清里・キープ自然学校着 (山梨県北杜市)	青木ヶ原樹海・洞窟探検		和歌山駅着・解散
17 時	自由散策	移動(バス)	浜松町駅・集合	
18 時	夕食	ホテル着		
19 時		夕食	観劇	
20 時	ナイトウォッチング	レクリエーション		
21 時	入浴	入浴	移動(鉄道)	
22 時 ～	就寝:キープ自然学校 (山梨県北杜市)	就寝:ホテル (山梨県富士河口湖町)	ホテル着・入浴・就寝 (東京都港区)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：ナイトウォッチング、青木ヶ原樹海・洞窟探検
- (2) 職業観：循環型酪農体験（放牧・牛舎清掃、搾乳等）



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援策の名称
人的支援		指導者の手配	【農山漁村体験の受入先】 公益財団法人 キープ自然学校
経済的支援		指導者の滞在費	
情報面の支援		体験プログラム(循環型酪農等)・受入体制等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案・調整	
		宿泊・食事・体験場所・用具等の手配	
		体験プログラム・荒天時の代替プログラムの手配	
		緊急連絡体制・災害対策の用意	
		アレルギー等を抱える各生徒の配慮の用意	
活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置		
	引率教員による指導の協力		
	各活動場所の案内		
	アレルギー等を抱える各生徒の配慮		
	受入先での緊急連絡体制の設置		
活動後	現地での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)		

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・本校教育活動の特色である「環境学」について体験から学べるカリキュラムを実践することができた
（本校の生徒数に対して、夜明けからの放牧・牛舎清掃・集牧・搾乳等、他では体験できない循環型酪農を受け入れてもらえる場所はここ以外になかった）。
- ・地域の原材料（野菜や精肉、乳製品等）を用いた食事で、生活すべてにおいて「環境」を大切にしたい施設で過ごすことができた。

【農山漁村体験の受入先】

公益財団法人キープ自然学校（山梨県北杜市）

住 所 山梨県北杜市高根町清里 3 5 4 5

TEL 0551-20-7701 URL <http://www.keep.or.jp/>

中学校 香川県 三豊市	農山漁村 長崎県 南島原市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	1泊2日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	職業観（農・漁）、交流

1. 学校名：三豊市立豊中中学校（商業地区・共学・全校生徒数 284 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：Let's enjoy 笑顔はじける僕たちの旅

4. 学年・人数・期日・宿泊先

- (1) 学年・人数：第3学年・94名（全員参加型）
- (2) 期日：平成30年4月23日（月）～4月26日（木）3泊4日
- (3) 宿泊先：ホテル2泊、農林漁家民泊（ホームステイ・分泊）1泊

5. ねらい

- (1) これまでの屋島集団宿泊学習や総合的な学習の時間で実施してきた班単位での活動の総まとめとして、修学旅行を実施する。また、お互いの友情と信頼をさらに深め、仲間づくりや集団づくりを行う。そして、班の絆を学級・学年団・学校に広げる。
- (2) 北九州の産業、歴史、人に触れることで、より視野を広げ、学校での学習やこれからの生き方に役立てる。特に、早くから国際交流を行ってきた長崎県の歴史的意義を知るとともに、被爆地長崎県から核兵器の脅威と平和の意味を学ぶ。
- (3) 南島原市の一般家庭に宿泊し、家業の体験をしたり、食事の準備を一緒にしたりする交流を通して、勤労の尊さや協力の大切さを学ぶ。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時	集合・出発式	起床	起床・朝食	起床・朝食
7時		朝食	解散式	
8時		出発準備	多々比港	移動(バス)
9時	移動(バス)	長崎市内班別タクシー研修	移動(フェリー)	太宰府天満宮 (福岡県太宰府市)
10時			長州港	
11時		昼食(各自)	移動(バス)	移動(バス)
12時	昼食(高速道路PA)		グリーンランドでの自由行動(熊本県荒尾市)	秋吉台自然動物公園サファ リランド(山口県美祿市)
13時	移動(バス)	移動(バス)	昼食(各自)	昼食
14時		南島原市着・入村式		
15時	長崎県長崎市着	移動		
16時	長崎原爆資料館・長崎平和公園の見学	各農林漁家民泊着	移動(バス)	移動(バス)
17時		各農林漁家民泊での家業体験(農・漁業体験)	夕食(弁当)	
18時	ホテル着	夕食づくりのお手伝い	福岡県福岡市着	
19時	夕食	夕食		到着・解散
20時	語り部講話	各農林漁家民泊の家族との 団らん	観劇	
21時	入浴	入浴		
～	就寝：ホテル (長崎県長崎市)	就寝：農家民泊 (長崎県南島原市)	ホテル着・入浴・就寝 (福岡県福岡市)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：農林漁家民泊先での家業体験（農・漁業体験）
- (2) 交流：農林漁家民泊の家族



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		指導員の手配	【農山漁村体験の受入先】 一般社団法人 南島原ひまわり観光協会
		指導補助員の手配	
情報面の支援		各農山漁家民泊に関する情報提供	
		南島原市の地域資源・受入体制等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		南島原市の指導員の手配	
		南島原市での緊急連絡対応の手配	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒への配慮の手配 (各農林漁家民泊への配慮事項の連絡等)	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒への配慮	
		現地での緊急連絡体制の設置	
	活動後	農山漁村体験の成果品等の送付	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・各生徒の食事アレルギーの調査等について気軽に相談にのってもらうことができた。
(年度初めの行事であったが、その都度連絡をとることができた。)
- ・宿泊当日に体調の悪い生徒が出たが、夜間に関わらず受入民泊まで自家用車で先導してもらえた。

【農山漁村体験の受入先】

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会（長崎県南島原市）

住 所 長崎県南島原市南有馬町乙 1395 南島原市有馬キリシタン遺産記念館 2 階

TEL 0957-65-6333 URL <https://himawari-kankou.jp/>

中学校 沖縄県 糸満市	農山漁村 長崎県 南島原市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間 1泊2日
			受入先の分類 受入地域協議会
			体験の分類 職業観（農・漁）、交流

1. 学校名：糸満市立糸満中学校（住宅地区・共学・全校生徒数 440 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：平成 30 年度修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第 3 学年・134 名（全員参加型）

(2) 期日：平成 30 年 10 月 31 日（水）～11 月 3 日（土）3 泊 4 日

(3) 宿泊先：ホテル 2 泊、農林漁家民泊（ホームステイ・分泊）1 泊

5. ねらい

- (1) これまでの学習を生かし、旅行先の自然・文化・歴史等の見聞や民泊体験等を行うことによって、広い知識と場に応じた適切な態度を身に付ける。
- (2) 旅行を通して、健康・安全・集団生活のきまりを守り、公衆道徳などについて望ましい体験をする。
- (3) 友人と寝食を共にすることで、さらに友情・絆を深め、有意義で楽しい中学校生活の思い出をつくと共に、様々なふれあいや体験を通して、自己の生き方を考える。
- (4) 各係や学級での活動全般を通して、自主的に行動、役割を果たすことで、学級・学年の団結を深める。
- (5) 被爆地長崎についての知識・理解を深めることで、平和について考え、行動することができるようにする。

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目
6 時	那覇空港集合・発	起床	起床	起床
7 時		朝食	朝食	朝食
8 時		ホテル発	離村式	移動(バス)
9 時	移動(飛行機)	移動(バス)		
10 時	福岡空港	長崎県雲仙市着 雲仙災害記念館の見学	移動(フェリー)	太宰府天満宮の見学 (福岡県太宰府市)
11 時	移動(バス)		移動(バス)	
12 時	長崎県長崎市着	昼食、火砕流家屋の見学	グリーンランドでの自由 行動・昼食 (熊本県荒尾市)	昼食
13 時	長崎平和公園	移動(バス)		買い物
14 時	長崎市内自主学習 昼食(各自)	長崎県南島原市着・入村式		解団式
15 時		移動	移動(バス)	福岡空港着
16 時	移動(バス)	各農林漁家民泊着	移動(バス)	福岡空港発
17 時	ホテル着	各農林漁家民泊での家業 体験(農林漁業体験)	ホテル着	移動(飛行機)
18 時	入浴	夕食づくりのお手伝い	入浴	那覇空港着・解散
19 時	夕食	夕食	夕食	
20 時		各農林漁家民泊の家族との 団らん	室内レク(大演芸大会)	
21 時		入浴		
22 時 ～	就寝：ホテル (長崎県長崎市)	就寝：農林漁家民泊 (長崎県南島原市)	就寝：ホテル (熊本県玉名市)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：農林漁家民泊先での家業体験（農・漁業体験）
- (2) 交流：農林漁家民泊の家族



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
情報面の支援		南島原市での宿泊学習の資料・教材の提供	【農山漁村体験の受入先】 一般社団法人 南島原ひまわり観光協会
		農山漁村体験の受入先の情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	農山漁村民泊の手配(食事・宿泊・移動・用具等)	
		農山漁村民泊による体験指導の手配	
		荒天時の代替プログラムの用意(各農林漁家民泊)	
		南島原市での緊急連絡対応の手配	
		南島原市での災害発生時の対策	
	活動中	受入先による損害賠償責任保険の加入	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮の手配	
		南島原市内での活動場所の移動・案内	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮	
		南島原市での緊急連絡体制の設置	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・昔から農林漁業が盛んな南島原市に根付いた文化・生活の体験を通して学習することができた。
- ・農林漁業を営む家庭の“日常”を体験することで、生徒自身の家庭についても理解を深めることができた。
- ・学習全般を通して心地よい人間関係や信頼関係を築く喜びを経験したことで、今後の生活に生かすことができた。

【農山漁村体験の受入先】

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会（長崎県南島原市）

住 所 長崎県南島原市南有馬町乙 1395 南島原市有馬キリシタン遺産記念館 2 階

TEL 0957-65-6333 URL <https://himawari-kankou.jp/>